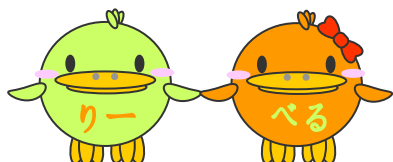


# リーベル通信



発行責任者：八女地区障害者等相談支援センター「リーベル」

住所：八女市本村 425-9

電話：身体しょうがい・知的しょうがい・しょうがい児 0943-22-2610

精神しょうがい 0943-22-2630



## だい かい や め ち く ち い き じ り つ し え ん き ょ う ぎ かい かい さい 第2回 八女地区地域自立支援協議会開催

3月24日(月)に、「第2回八女地区地域自立支援協議会」が開催されました。今回の議題は、まず相談支援センター「リーベル」の業務内容について、各障害担当の相談支援専門員から事例を交えて報告をさせていただきました。次に、障害者の就労について、八女職業安定所(大池所長)より現状についてお話をさせていただきました。最後に、「リーベル」より相談支援を行う中で見えてきた課題について、①教育②就労③生活という分野での課題を提起させていただきました。障害者自立支援法の施行から丸2年が経ち、相談を受けていく中でも、この八女地区での課題が見えてくるようになりました。「リーベル」だけでは解決できない地域の課題を、この八女地区地域自立支援協議会で話し合っていたいただきたいと思います。



[上：八女地区地域自立支援協議会委員の方々]



右：八女職業安定所(大池所長)  
大池所長は3月末で異動



[奥2名:相談支援専門員からの報告]

★誰もが安心して暮らすために(課題提起の一部)

- ①教育:特別支援教育の整備・充実。障害の有無に関わらず、共に生きる社会。
- ②就労:障害者雇用企業の拡大。企業と支援者の連携。支援者育成
- ③生活:住居、安全、福祉サービスの充実、権利擁護、余暇活動



## ★「教育」の視点から

私たち「リーベル」の業務では、多くの関係機関の方々とのつながり（連携）が欠かせません。人が生まれ、成長していく中で、教育を受ける期間（学齢期）は、心身ともに成長する重要な時期でもあります。そうした教育機関との連携が将来に亘る支援につながると考えます。そこで今回は、「教育」の視点からご助言をいただくことにしました。

## 一人ひとりの「地域所属」をめざして

福岡県立筑後養護学校 後藤 宏

本校は、福岡県南部の筑後市に位置する知的障害を対象とした県立の特別支援学校です。平成20（2008）年4月1日現在の学級数52学級、児童生徒数263名（小学部81名、中学部48名、高等部134名）という県内でも有数の大規模な学校です。児童生徒の居住地域は21の市町村を数え、利用できる社会資源も広域に分散化しており、学校が主体となって、障害児者本人・保護者と地域・関係諸機関とをつないでいく役割も担っています。

そこで、本校では平成10（1998）年度より、居住区を元に地域割りをを行い、4地区に分かれて地域懇談会を実施してきました。初年度は児童生徒が居住する地域の中でどのような生活をしているのか、家庭ではどんな悩みを抱えているのか等の把握が目的でしたが、回数を重ねるにつれ、子どもたちの地域生活を支えていく上で、なくてはならない重要な役割を果たすようになってきています。障害児者本人やその家族がかかえている悩みは実に様々で、誰にも相談できず、必要な情報も得られないということも少なくありません。学校だけでの取組には限界があり、自治体の教育・福祉担当者との関係作りや子ども・保護者と居住地域の行政・関係諸機関等をつないでいくことは特に重要な課題となってきています。

そのような中、八女市郡では「リーベル」の活動が開始されたことにより、障害児者本人や家族が、日常的に安心して相談できる場として、本校からも多くの方々が利用させていただくようになりました。また、私たち学校職員にとりましても、「リーベル」のスタッフと連絡を取り合い、協力し合いながら、連携した支援へとつなげるケースも増えてきました。私たちは、本校児童生徒やその家族が排除されず、排除せず、納得できる状態で地域に所属していくことを望んでいます。本校に在籍する一人ひとりが、つねに居住する地域の構成員として認められ、安心してくらししていけるための取組を、今後とも「リーベル」と連携を図りながら、共に進めていきたいと考えています。

原稿依頼を快くお引き受けいただいた、筑後養護学校の後藤宏教諭に感謝申し上げます。



# きがる た よ ひろば かいしょ 気軽に立ち寄ってください! 「ふらっち広場」開所

4月1日より、八女市地域活動支援センターⅡ型「ほほえみ」(八女市より障害者支援施設「陽だまりの里」へ委託)の一部として、八女市大正町商店街駐車場近くに「ふらっち広場」が開所しました。2月下旬より試行的に開所しており、1日10名前後の方が訪れてくださっていたそうです。障害の有無に関わらず、ちょっと「ふら～っち」お立ち寄りください。楽しいおしゃべりをしに、また調理活動、創作活動等も予定されています。みなさんの明るい笑顔とにぎやかな笑い声が響きわたることを楽しみにしております。



開所式(4月1日)に撮影:後列左より、家主(内野様ご夫妻)、陽だまりの里(井上施設長)、八女市(野田国義市長)前列:ふらっち広場スタッフ(日野さん、山下さん)

【ふらっち広場全景「市町村会館」交差点角】



←筑後養護学校や福祉施設等の授産製品の販売もしています。

## 「ふらっち広場」の予定について(決まっているもののみ)

- 5月4日(日)ふらっちカラオケ大会 13:00~15:00 参加費:無料
- 5月18日(日)ギター演奏 13:00~ 参加費:無料
- ★第1土曜日:足つぼマッサージ(要予約:30分300円)

## 「ふらっち広場」連絡先

住所:八女市本村425-61  
電話:0943-24-3022

### ★利用者の声★

障害を持つ子供の保護者は、成長の節目節目(無論、継続的にですが)様々な悩みや課題を抱え日々過ごしています。とても自分の中で処理しきれない思いを、リーベルの職員さん達に相談することで、より具体的になり方向性が明確になります。居住区市町村の福祉課窓口で話しづらい相談事も客観的に聞いて頂き、思いを伝えて頂きます。私達にとって必要不可欠な事業所です。(中島さん)





# しちょうそんそうだんまどぐち ふくしたんとう しょうかい 市町村相談窓口（福祉担当）のご紹介

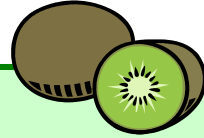
ぜんかい ひ つづ しちょうそんそうだんまどぐちたんとう かた しょうかい だい ごう だい ごうさんしょう ほんねんど  
 前回に引き続き、市町村相談窓口担当の方を紹介いたします。（第5号、第6号参照）本年度も、  
 ぎょうせい りーべる じゅうぶん そうだん たいおう せいかい おも  
 行政と「リーベル」が十分に連携をとり、ご相談に対応させていただきたいと思っております。よろしく  
 ねが  
 お願いいたします。

たちばなまちやくば  
 ★立花町役場



たちばなまちやくば ふくしがかり  
 立花町役場 福祉係です。

みなさんのご要望に応えることができるように  
 こころ ちい ぎもん おも  
 心がけています。小さなことでも疑問に思うこ  
 とがあればお気軽に声をかけてください。しもかわ  
 ぜんれつひだり なかしま ぜんれつみぎ ふくし  
 （前列左）と中島（前列右）がしょうがい福祉  
 ぜんばん たんとう  
 全般を担当しています。



★平成20年4月より異動があった市町村窓口について



- 八女市役所 しょうがい福祉課：矢賀部主任が異動。後任に片山主任。
- 広川町役場 母子・福祉係：中村主査が異動。中島保健師が主で担当。
- 黒木町役場 福祉課福祉係：仁田原課長が異動。後任に坂田課長。

## ★星野村出張相談の日程★

<平成20年>

- 5/23(金) 担当スタッフ:精神障害・知的障害
- 8/22(金) 担当スタッフ:精神障害・身体障害
- 11/28(金) 担当スタッフ:精神障害・知的障害

<平成21年>

- 2/20(金) 担当スタッフ:精神障害・身体障害

時間: 13:00~15:00(すべての日程共通)

場所: 星野村総合保健福祉センター「そよかぜ」

問い合わせ先: 星野村役場もしくはリーベルまで

## 絵本を寄贈していただきました！

絵本「なんでバイバイするとやか？」

2面にも原稿を掲載させていただきました、筑後養護学校の後藤宏教諭(文)が絵本を発刊されました。その絵本をリーベルに寄贈いただきました。地域で暮らすしょうがいをもつ子どもさんの視点から、その子を知る地域の子どもの視点からと、



多くのことを考えさせられます。是非ご一読ください。(リーベルで購入可)

## 編集後記

2月29日(金)に福岡県庁にて「市町村行政説明会」が行われました。県内の行政福祉担当者が多数集まった中で、この八女地区の取組を八女市福祉(伊藤課長補佐)がお話されました。行政側である伊藤課長補佐が行政担当者を前に、八女への愛着と福祉への熱い思いを語ってくださいました。この八女地区においても、教育、就労、生活といった面で、多くの課題が山積みです。行政と相談支援担当者が一緒に考えても、なかなか解決できない課題があります。そんな「困った！」の声を「八女地区地域自立支援協議会」で今後検討していただき、この八女地区の福祉をより充実したものに、そして安心して生活できる地域になればと思います。

